

() は
保存温度

免疫学検査

	項目コード	項目名	採取容器	必用量	検査方法	基準値	区分 実施科	報告 日数	備考	外注先
血漿 蛋白	1884 5C015	α 1 マイクログロブリン α 1 MG 5C0150000023062	1 全血容器(茶)	血清 0.5(冷蔵)	ラテックス凝 集法	9.7～19.9 mg/L	免疫 129	3～5		3
	1885 5C015	α 1 マイクログロブリン(尿) 尿中 α 1 MG 5C0150000001062	5 尿スπιツツ	尿 1(冷蔵)	ラテックス凝 集法	0.8～14.1 mg/L	生化Ⅱ 132	3～5		3
	1754 5C065	β 2-マイクログロブリン β 2 MG 5C0650000023062	1 全血容器(茶)	血清 0.5(冷蔵)	ラテックス凝 集法	0.9～2.0 mg/L	免疫 98	3～5		3
	1755 5C065	β 2 MG(尿) 尿中 β 2 MG 5C0650000001062	5 尿スπιツツ	尿 1(冷蔵)	ラテックス凝 集法	289以下 μ g/L	免疫 98	3～5		3
	1493 5C093	心筋トロポニンT TNT 5C0930000023053	1 全血容器(茶)	血清 0.5(凍結)	ECLIA法	0.014以下 ng/mL	生化Ⅰ 109	3～5	急性心筋梗塞診断のカットオフ 値0.100ng/mL * 1	3
	1830 5C093	心筋トロポニンT定性 5C0930000023053	2 血球容器(紫)	EDTA加血液 0.3(室温)	免疫クロマトグ ラフィー法	(-)	生化Ⅰ 112	1～2	採血後室温 8 時間以内に検査	1
	1296 5C092	心室筋ミオシン軽鎖1 5C0920000023021	1 全血容器(茶)	血清 0.5(冷蔵)	EIA法	2.5以下 ng/mL	生化Ⅰ 184	3～5	* 2	4
	1860 5C090	ミオグロビン 5C0900000023051	1 全血容器(茶)	血清 0.5(冷蔵)	CLIA法	60以下 ng/mL	生化Ⅱ 131	3～5		3
	1861 5C090	ミオグロビン(尿) 5C0900000001052	25 尿中ミオグロ ビン用	尿 2(冷蔵)	CLEIA法	2.0未満 ng/mL	生化Ⅱ 131	3～5		3
	1801 5C130	P-Ⅲ-P プロラーゲン-Ⅲ-ペプチド 5C1300000023006	1 全血容器(茶)	血清 0.3(冷蔵)	IRMA法(RIA・ 固相法)	1.0以下 U/mL	生化Ⅰ 136	3～5		3
	1823 5C135	Ⅳ型コラーゲン7S 5C1350000023052	1 全血容器(茶)	血清 0.5(冷蔵)	CLEIA法	4.4以下 ng/mL	生化Ⅰ 148	3～5		3
	1849 5C134	Ⅳ型コラーゲン 5C1340000023062	1 全血容器(茶)	血清 0.5(冷蔵)	ラテックス凝 集法	140以下 ng/mL	生化Ⅰ 131	3～5		3
	2500 5C141	M2BPGi Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体 5C1410000023052	1 全血容器(茶)	血清 0.3(冷蔵)	CLEIA法	0.84未満 AU/mL	生化Ⅰ 194	3～5	* 3	3
	2601 5C240	オートタキシン 5C2400000023023	1 全血容器(茶)	血清 0.5(冷蔵)	EIA法	M: 0.388～0.912 F: 0.450～1.280 mg/L	生化Ⅰ 194	3～5	* 3	3

* 1 心筋トロポニンTと心筋トロポニンI あわせて実施した場合は主たるもののみ算定する。

* 2 心室筋ミオシン軽鎖 同一日に2回以上行った場合は1回のみ算定する。

* 3 M2BPGi オートタキシン 慢性肝炎又は肝硬変の患者(疑われる患者を含む)に対して、肝臓の線維化進展の診断補助を目的に実施した場合ひ算定する。

M2BPGi オートタキシン P-Ⅲ-P、Ⅳ型コラーゲン、Ⅳ型コラーゲン7S、ヒアルロン酸 あわせて実施した場合は主たるもののみ算定する。